

お問い合わせ先



光シティ サポートセンター 年中無休（施設点検日およびメンテナンス日は休業）

0120-964-761 通話料無料

- お申し込み内容やサービスに関するお問い合わせ 10:00 ~ 18:00
- 技術サポートに関するお問い合わせ 10:00 ~ 19:00



■ 光シティサービスのホームページはこちら

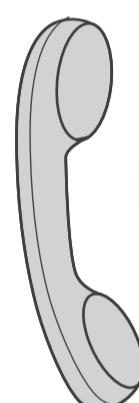
<http://www.softbank.jp/ybb/other/hikaricity/>

■ サポート情報はこちら

<http://ybb.softbank.jp/support/>

- お問い合わせの際は、申し込み者氏名、電話番号（日中ご連絡先）、申し込み住所、カスタマーIDをあらかじめご用意ください。

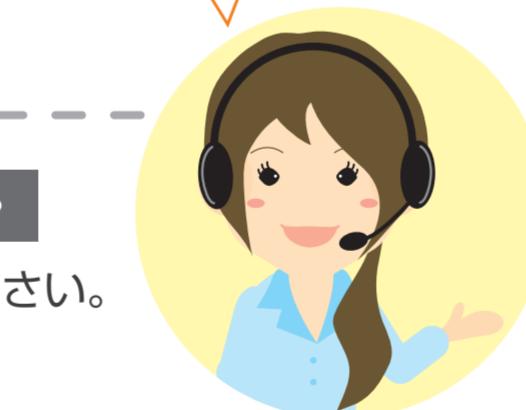
光シティ サポートセンターでは、専門のオペレーターが、
ご質問にお答えいたします。



まず初めに、音声ガイダンスが流れます。
お問い合わせ内容にあった番号を押してください。
オペレーターにつながります。

- 1 お申し込み手続き、各種サービスの変更、キャンセル・解約に関するお問い合わせ
- 2 インターネット接続方法、接続トラブル、回線障害などについてのお問い合わせ
- 9 もう一度、お聞きになる場合

お気軽にお電話ください。



何番を押したらいいか？迷ったら・・・

アナウンスが2回流れた後、しばらくお待ちください。
直接オペレーターにつながります。

お問い合わせの際には

- お問い合わせの際は、「186」をはじめにダイヤルしていただくと、お客様の電話番号が弊社に通知され、お客様を識別できますので、スムーズな対応が可能となります。
- お客様よりお問い合わせいただきました内容は、オペレーターの教育、サービス向上、円滑な業務遂行を目的として、原則記録させていただきます。また、コールセンターの品質向上のため、お客様のお問い合わせに対応させていただきましたオペレーターについて、アンケートをお願いすることがあります。なお、当該記録をこれらの目的以外に使用することはございません。

発行元 ソフトバンクモバイル株式会社

- ・本冊子の一部または全部を無断複写・転載することを禁じます。
- ・本冊子の製品に対する記述は情報を提供する目的で書かれたもので、保証するものではありません。
- ・記載されている会社名、製品名およびサービス名は、各社の登録商標および商標です。
- ・本紙の本文中ではTM、®マークは明記しておりません。
- ・記載内容は2015年4月1日現在のものです。

- ・サービス内容および提供条件は、改善等のため予告なく変更する場合があります。
- ・記載されている会社名、製品名およびサービス名は、各社の登録商標および商標です。
- ・本紙の本文中ではTM、®マークは明記しておりません。

光シティサービス専用

光BBユニット接続ガイド

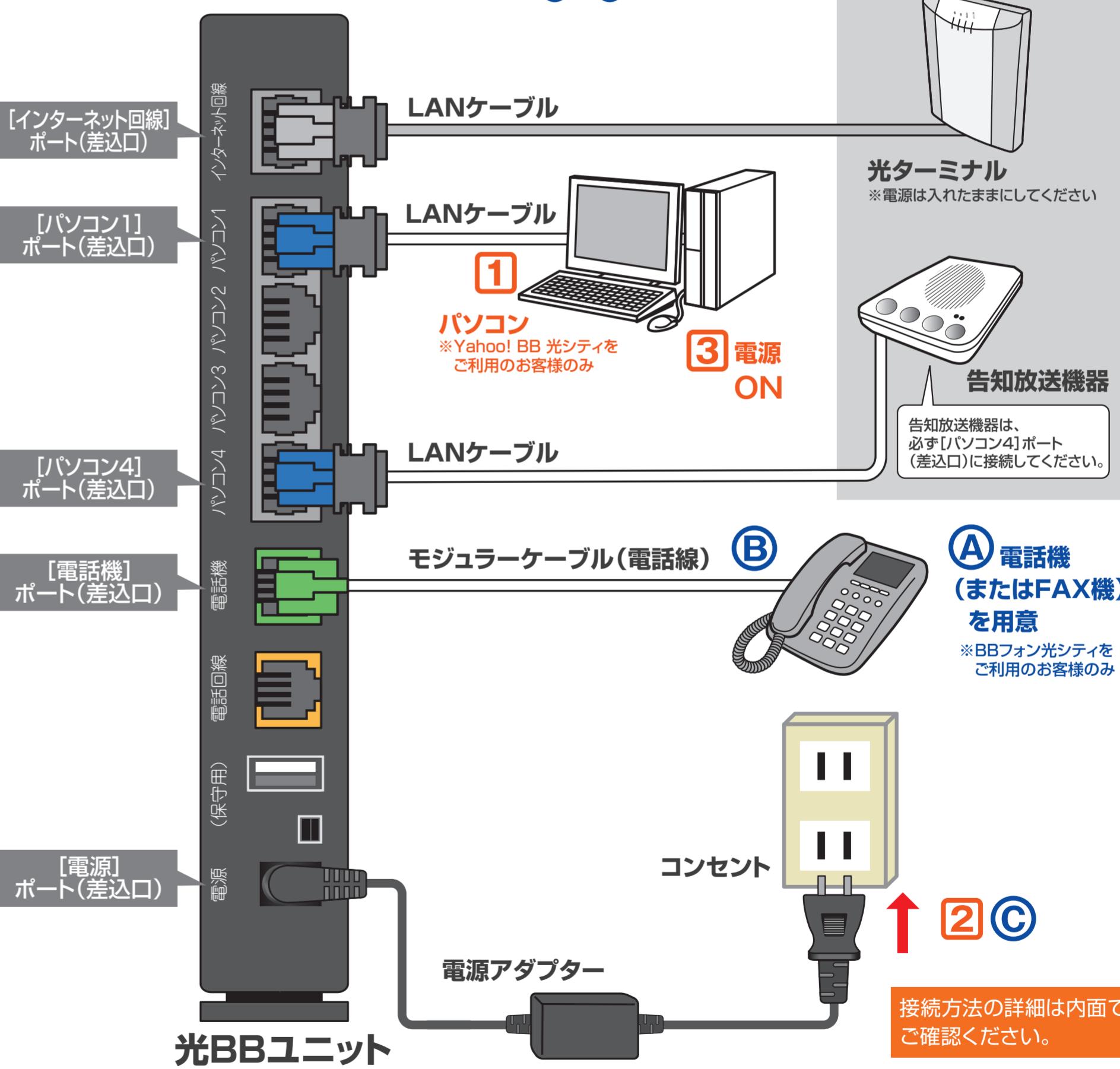
接続図

はじめてでもカンタン らくらく接続！

はじめに、光ターミナル以外の機器の電源をすべて切ってください。

- Yahoo! BB 光シティをご利用のお客様は、①～③の順に接続します。
- BBフォン光シティをご利用のお客様は、開通に合わせ④～⑥の順に接続します。

自治体によって設置済み



※ 同梱の、**青色のLANケーブル**、**緑色のモジュラーケーブル**、**黄色のモジュラーケーブル(予備)**、各1本をご利用ください。

※ 光BBユニット本体が白色の場合も接続手順は変わりません。

※ 製品仕様・外観は予告なく変更される場合がございます。

インターネットサービス Yahoo! BB 光シティのご利用準備

はじめに 接続する機器の電源を切る

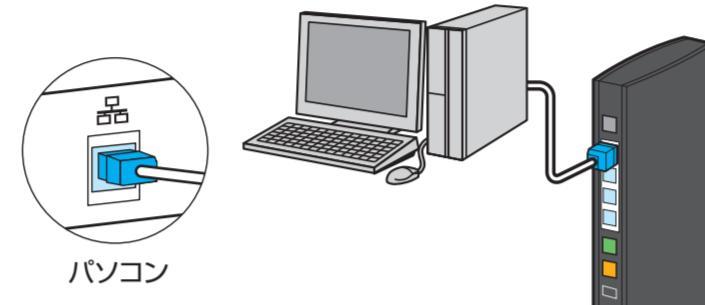
接続する機器(光BBユニット・電話機(またはFAX機)・パソコン・告知放送機器など)の電源をすべて切ってください。

※光ターミナルの電源は切らないでください。

1 光BBユニットとパソコンの接続

同梱の青色のLANケーブルを使って光BBユニットの「パソコン1」または「パソコン2」と書かれたポート(差込口)のどちらかとパソコンのLANポートを接続します。

※「パソコン3」「パソコン4」と書かれたポートはご利用いただけません。



下記をご用意ください。

1. 推奨OS/パソコン

Windows の場合 Windows 7/8/8.1/Vista
Mac OS の場合 Mac OS X 10.7～

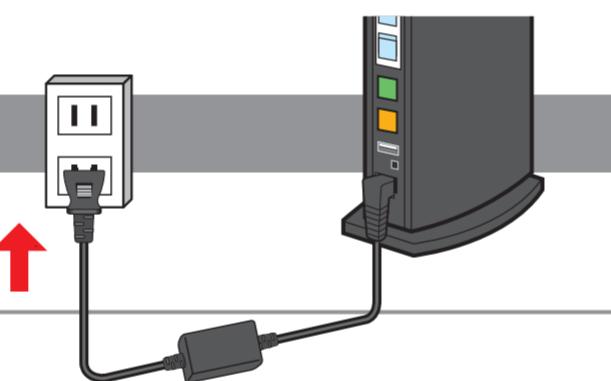
2. 100BASE-TX、1000BASE-Tに対応したLANアダプター

(お使いのパソコンに内蔵の場合は不要です。)

BBフォン光シティをあわせてご利用のお客様は、ここで3ページのA～Bの作業を行ってください。

2 光BBユニットの電源を入れる

電源アダプターをコンセントに差し込みます。



3 パソコンの電源を入れる

光BBユニットの「電源」ランプが点灯してから、パソコンの電源を入れ、3ページの「LEDランプ例」にて、ランプの確認をしてください。

※ 告知放送機器の電源も忘れずに入れてください。

※ BBフォン光シティをご利用のお客様は、電話機(またはFAX機)の電源も入れてください。



- 通常は、モ뎀などの接続機器とパソコンをLANケーブルでつなぐだけでインターネットに接続できます(パソコンの設定は不要です)。
詳しくは、下記WEBページの「パソコン・ネットワークの設定方法」をご確認ください。
<http://ybb.softbank.jp/support/connect/step2/pc/>
- 光BBユニット、電話機(またはFAX機)、パソコンなどの電源アダプターは、それぞれの機器に正しく接続してください。電気製品の電源アダプターは、機器によって定格電流や定格電圧、入力端子の+極／-極の形態、位置などが異なり、他の製品のものを接続すると、機器の誤動作や故障、発熱の原因となって、たいへん危険です。
- 正しく接続されていない場合、「電話にノイズが入る」などの原因となります。
またケーブルがきちんと差し込まれていないことで接続が不安定になる場合もあります。そうした場合には、配線が正しい場合もいったん配線を外して再度、通信機器を接続し直してください。
- 告知放送機器など自治体からの貸与機器につきましても正しく接続のうえ、電源を入れておいてください。
- 光BBユニットは初期設定のままでご利用いただけますが、より詳細な設定が必要な場合は下記WEBページの「セットアップ・ガイド」をご確認ください。
<http://ybb.softbank.jp/support/connect/hikari/setupguide.html#02>
- 無線LANをご利用の場合は下記WEBページの「光BBユニット(E-WMTA2.2)をご利用の場合」をご参考ください。なお、光シティの光BBユニットは従来の2.4GHz帯に加え、5GHz帯にも対応しておりますので帯域指定の設定が可能です。
<http://ybb.softbank.jp/support/connect/hikari/setupguide.html#05>

IP電話サービス

BBフォン光シティのご利用準備

はじめに 接続する機器の電源を切る

接続する機器(光BBユニット・電話機(またはFAX機)・パソコン・告知放送機器など)の電源をすべて切ってください。

※光ターミナルの電源は切らないでください。

A 電話機(またはFAX機)を用意

※ISDN専用電話機など、一部の電話機ではそのままご利用いただけない場合もございます。

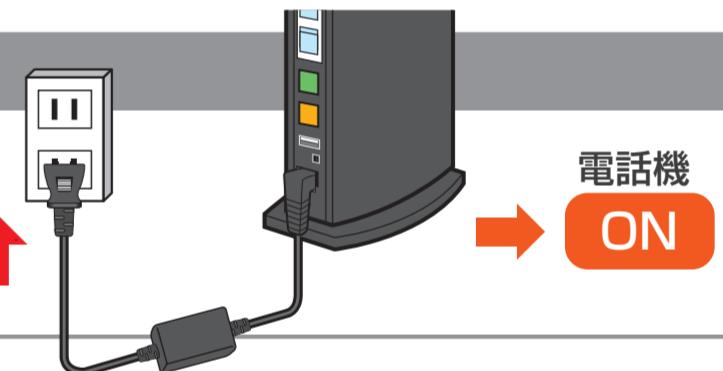
※番号ポータビリティをお申込みで現在ご利用中の電話機(またはFAX機)をBBフォン光シティでもご利用になる場合は、「番号ポータビリティ工事(日)」に合わせ電話機の接続を行ってください。

※黒色の光BBユニットの場合、番号ポータビリティ完了までは、電話ランプがオレンジ点灯、番号ポータビリティ完了後緑点灯となります。



B 光BBユニットと電話機の接続

同梱の緑色のモジュラーケーブルを使って光BBユニットの「電話機」と書かれたポート(差込口)とお使いの電話機(またはFAX機)を接続します。



C 光BBユニットと電話機の電源を入れる

電源アダプターをコンセントに差し込みます。その後電話機(またはFAX機)、告知放送機器などの電源を入れ、下記「LEDランプ例」にて、ランプの確認をしてください。

LEDランプ例



※ 光BBユニットにLANケーブルで接続されたパソコンの電源が入っているときは、パソコンに接続したポートに対応した[パソコン]ランプも点灯します。
データの送受信が発生している状態では点滅します。

※ 告知放送機器の電源が入っているときは、[パソコン4]ランプが点灯します。

※ BBフォン光シティを使った通話が可能なときは[電話]ランプが点灯します。

※ 無線LANでの通信が可能となったときは[無線LAN]ランプが点灯します。

※ [セキュリティ]ランプは、使用しません。

※ 白色の光BBユニットは、電話ランプがBBフォン、機能ボタンが電話転送ボタンと記載されています。

光BBユニット、光ターミナルは、常に電源を入れておいてください。

電源が入っていないと、インターネットやIP電話サービスがご利用いただけません(着信もできなくなります)。